

学科名	建築・デザイン学科							
科目名	静定構造力学 I 及び演習							
科目区分	専門科目	単位数	3	開講時期	1年前期			
必修・選択の別	必修科目(建築工学コース)/必修科目(建築コース)/選択科目(デザインコース)							
担当者	津田和明							
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> 合力や分力を数式解法および図解法で求めることができる。(A6,B1) 単純ばりの反力を数式解法および図解法で算定することができる。(A6,B1) 片持ち梁の反力を数式解法で算定することができる。(A6,B1) 静定トラスの応力を数式解法で算定することができる。(A6,B1) 静定トラスの応力を図解法で算定することができる。(A6,B1) 							
日程と内容	4/14 導入講義：導入講義 プレゼンテーション 4/21 力・力の三要素・力のモーメント・偶力・合力と分力 4/28 力の合成と分解・数式法・図解法 5/9 力の釣合い・数式条件・図解条件 5/12 構造と荷重のワール・支点と反力算定 5/19 片持ち梁と単純梁の反力算定・数式法 5/26 図解法による単純梁の反力算定 6/2 臨時試験 6/9 軸方向力とトラス応力 6/16 静定トラスの応力算定 1 節点法 6/23 静定トラスの応力算定 2 切断法 6/30 静定トラスの応力算定 3 図解法 7/4 静定トラスの応力算定 4 ワール法 7/7 総まとめ 7/21 定期試験 7/28 解答解説							
成績評価基準	定期試験	30%	実技	0%	臨時試験	30%	部外評価	0%
	報告書・レポート	0%	プレゼンテーション	0%	課題	10%		
	演習	30%	計	100%				
授業到達目標の達成度	受講生89名中、総合評価90点以上が20名、80点以上が40名、合格者は85名であり、目標は十分に達成されたと考える。							
反省点	今回からクラス分けを止め、TAを2名にして授業・演習を行った。TAを2名にしたことは成功と思われ、学生たちは授業中、授業時間外に関わらず、気軽にTAに接触していたようである。今回の学生は計算問題は比較的対応できていたが、作図によって力を求めることには苦労していたようである。作図関係にこそ、パワーポイントは有効と考えているが、授業の進行が多少早かったようである。今後、同じものを複数回見せるなどし、学生の理解を促したい。							
来年度の計画	基本的に今年度同様に、クラス分けせず、TA2名体制としたい。授業スピードは落し、同じパワーポイントを複数回見せるようにする。							
授業評価アンケートに対するコメント	総合評価は7.3点であった。やはり、しっかりと理解できていない学生が多かったように思える。来年度への反省としたい。							
履修登録者数	89名	定期試験 受験者数	88名	合格者数	85名	合格率	97%	